

これまでの対応及び予定の状況

対応策	概要	対応状況
《対応策1》 救急搬送照会対応 マニュアルの整備 《対応策2》 消防と病院による救急対応 合同訓練の実施	・マニュアルを整備し、合同訓練を実施	・平成19年10月3日～24日まで4回の マニュアル作業部会を開催し、マニユ アルを策定 ・11月中に訓練実施予定
《対応策3》 周産期救急患者の受入 要請業務等を行うコー ディネーターの配置	・ハイリスク妊婦搬送コーディネーターを 県立医科大学附属病院に配置	・平成19年9月補正予算で対応済み ・現在、医師・助産師等を継続募集中 (医師の応募はなし) ・11月中の一部実施にむけ準備中
《対応策4》 未受診妊婦対策	・未受診妊婦の調査の実施	・調査実施済(第4回調査委員会で報告済)
	・経済的負担の軽減 初回健診受診料(妊娠判定受診料)の 補助	・平成20年度当初予算対応に向け検討中
	・思春期保健対策の充実 保健所を中心に学校と連携した思春 期保健対策の実施	・平成20年度当初予算対応に向け検討中
	・相談窓口の設置 「妊娠110番」の設置運営 日本助産師会奈良県支部へ委託	・平成20年度当初予算対応に向け検討中
	・啓発活動 妊婦健診受診促進事業 ①「妊娠かなと思ったら、まず受診」 キャンペーン ②母子保健強調月間での啓発	・平成20年度当初予算対応に向け検討中
《対応策5》 北和一次体制の整備 《対応策6》 中南和一次体制の整備	・産婦人科一次救急体制緊急整備事業 (在宅当番医制・病院群輪番制 運営事業)	・平成19年12月補正予算で対応 ・作業部会の設置に向け、産婦人科医会と 調整中
《対応策7》 ドクターヘリによる救急 搬送体制の充実	・大阪府ドクターヘリの広域的活用 に参画	・大阪府と協議中
《対応策8》 産婦人科医の処遇改善	・産婦人科医の確保のため、県立病院 及び医大附属病院に勤務する産婦人 科医師の処遇を改善	・平成20年度当初予算対応に向け検討中
《対応策9》 県立医科大学定員増員 及び奨学金貸与制度の 創設	・緊急医師確保修学資金貸付金	・平成19年12月議会で条例制定及び 補正予算対応 ・文部科学省及び厚生労働省と協議中
《対応策10》 県立医大の学生・研修医師 を産婦人科等に誘導する ための奨学金等貸与制度 創設	・緊急医師確保修学資金貸付金	・平成20年度当初予算対応に向け検討中
《対応策11》 総合周産期母子医療 センターの整備	・医大附属病院に総合周産期母子医療 センターを整備	・県立医科大学附属病院に整備中 ・平成20年5月までのできるだけ早い時期に 開設予定
《対応策12》 周産期医療体制に関する 基本構想の策定	・基本構想の策定	・平成19年10月17日に第1回検討会議を 開催(11月12日に第2回を開催予定) ・今年度中に基本構想を策定予定
	・基本構想の検討の中で方向性が定ま れば、県立奈良病院のNICU後方病 床を先行して整備	・検討中